挑戦せずして、
未来が開けますか。

OPEN UP THE FUTURE

未来を、開く。



基調講演

財務大臣

片山さつき氏



第7回

県政報告会

挑戦する人の夢が実現でき、
挑戦と成長が循環し、
人と地域が共に成長する山県市。

日時 令和8年 11月15日 日

14:00～15:30（開場13:30）

会場 美山コミュニティセンター

（旧美山中央公民館）

山県市岩佐1177番地1　TEL 0581-52-1106

主催・お問い合わせ

岐阜県議会議員
恩田佳幸 後援会 事務所

〒501-2104 岐阜県山県市東深瀬846-1

0581-32-9597

city.yamagata@yoshiyukionda.jp



ごあいさつ

これまで多くの皆様にお支えいただき、これからの山県市について語り合い、共にさまざまな社会課題に挑戦してきました。その中で、一つひとつ課題の解決に取り組み、時代の変化を捉えながら、新たな価値を生み出す挑戦も進めてきました。
心から感謝申し上げます。

一方で、将来の山県市を考えれば、私たちがこれから挑戦しなければならない課題は、まだ数多く残されています。

私は信じています。現代社会において解決できない課題は１つもありません。なぜならば、全ての社会課題は私たちの社会行動から生じているからです。だからこそ、仕組みや行動を変え、新しい技術や知恵を取り入れることで、未来を変えていくことができると信じています。

長年にわたり先送りされてきた社会課題に今の時代で答えを出します。

私たちには本当に、人口の減少とともに地域が衰退していく道しか残されていないのでしょうか。私は、ここで山県市の未来を諦めたくありません。山県市が直面する課題から目をそらさず、真正面から挑んでいきます。

政治は、100の言葉よりも、１つの結果。

その「結果」とは、政策や事業を実施することではなく、社会課題を解決して、市民の皆様の幸せを実現することです。政策や事業は「目的」ではなく、市民の皆様を幸せにするための「手段」です。

だからこそ、「どれだけ政策を実施したか」ではなく、「どれだけ市民の皆様を幸せにできたのか」を大切にします。

そして、これまでの経験や慣習に頼らず将来のビジョンと目標を明確にし、その実現に向けたプロセスに高く厳しい KPI（重要業績評価指標）を自ら設定するとともに、エビデンス（根拠）に基づいて政策を立案し、成果を検証しながら改善を続けていきます。

私は信じています。山県市には、私たちには大きな可能性があると。

しかし、可能性は待っているだけでは未来に変わりません。私たち一人ひとりが一歩を踏み出し、挑戦することで、初めて可能性は形となり、新たな成長につながります。

人口減少や若者の流出、過疎化が進む今、もう次の世代に課題を先送りする時間はありません。

今、なぜ山県市に新たな挑戦が必要なのか。
これからの山県市に、どのような可能性があるのか。
そして、その可能性を、どうすれば未来の成長につなげることができるのか。

挑戦せずして、未来が開けますか。

第７回県政報告会では、３期にわたる岐阜県議会議員としての活動を支えていただいた皆様への感謝とともに、これまでの取り組みによって山県市や地域がどのように変化し、前へ進んできたのかをお伝えします。

そして、私の岐阜県議会議員としての今任期も残りわずかとなりました。これまでの歩みを振り返るとともに、今、なぜ山県市に新たな挑戦が必要なのか、その先にある山県市の未来について皆様と一緒に考える機会になれば幸いです。ぜひ会場へお越しください。





県政報告

1 岐阜県議会議員 12年の歩み
これまでの活動と山県市の変化

2 これからの山県市について
山県市が直面する課題と未来の可能性

3 なぜ、山県市には新たな挑戦が必要なのか
次の世代に課題を先送りしないために

基調講演

財務大臣
片山さつき氏

テーマ
責任のある積極財政と地方の挑戦





山県市の未来を開くトークセッション

岐阜県議会議員 **恩田佳幸** × 財務大臣 **片山さつき氏** × 岐阜県知事 **江崎禎英氏**

私たちが日本と岐阜県、そして、山県市の未来を導きます。
その先で、決断するのも挑戦するのも市民の皆様のご判断です。
挑戦せずして、未来が開けますか。

